

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたってのアンケート調査

1. 調査の目的

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向け、基本目標、施策の基本的な方向性を検討する際の基礎資料とするため、結婚や子育てに関する意向、仕事に関する意向、住まいに関する意向について把握することを目的として実施するものである。

2. 調査概要

- (1) 調査内容
- (2) 調査期間
 - ・平成 27 年 6 月 11 日（木）発送 平成 27 年 6 月 24 日（水）締切
- (3) 調査方法
 - ①調査対象
 - ・15～49 歳の男女 3,000 人（外国人を含む）
 - ②抽出方法
 - ・住民基本台帳に基づき市内 12 地域の人口割合に応じて無作為に抽出
 - ③調査方法
 - ・郵送による配布、回収（無記名回収）

3. 回収結果

- (1) 標本数 3,000
 - (2) 回答数 1,307（回収率 43.6%）
- 地域別の配布数、回答数、回収率は下表のとおり

	配布数	回答数	回収率
市内全域	3,000	1,307	43.6
本庁	894	368	41.2
芳野	51	19	37.1
古谷	96	35	36.5
南古谷	209	100	47.9
高階	443	189	42.6
福原	172	76	44.2
大東	296	122	41.2
霞ヶ関	273	135	49.4
霞ヶ関北	153	64	41.8
名細	261	99	38.0
山田	101	53	52.6
川鶴	51	20	38.9
無回答		27	



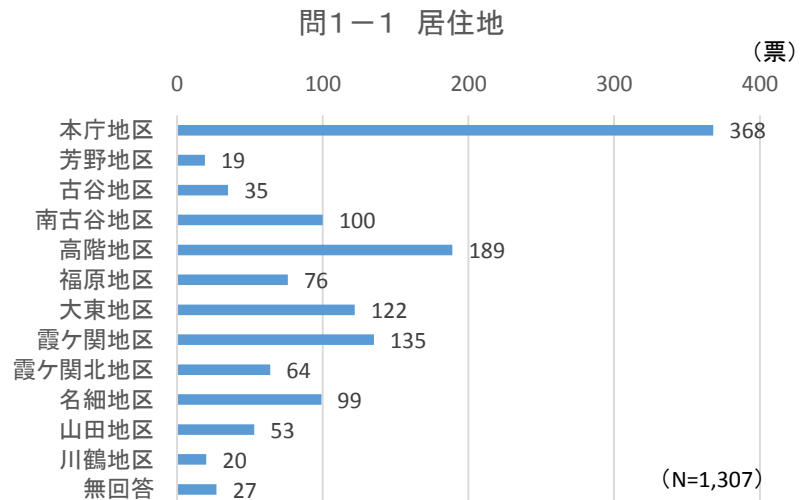
4. 集計結果

(1) 回答者について

問1-1 あなたの居住地

アンケート票の配布は、地区別の人口比率に応じて行っており、本庁や高階、大東、霞ヶ関などの居住者人口の多い地区には、アンケート票を多く配布している（前頁参照）。その結果、回答票も居住者人口の多い地区ほど多い。ただし、回収率をみると、どの地区も30%台～50%台となっている。

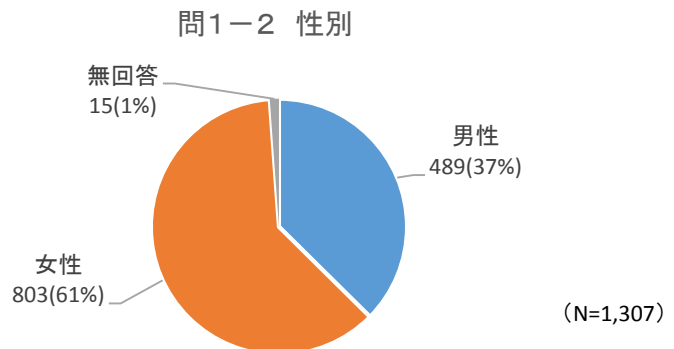
		回答数 (票)	回収率 (%)
1	本庁地区	368	41.2
2	芳野地区	19	37.1
3	古谷地区	35	36.5
4	南古谷地区	100	47.9
5	高階地区	189	42.6
6	福原地区	76	44.2
7	大東地区	122	41.2
8	霞ヶ関地区	135	49.4
9	霞ヶ関北地区	64	41.8
10	名細地区	99	38.0
11	山田地区	53	52.6
12	川鶴地区	20	38.9
13	無回答	27	
	合計	1,307	43.6



問1-2 あなたの性別

回答者の性別は、女性が6割、男性が4割と、女性からの回答が多い。

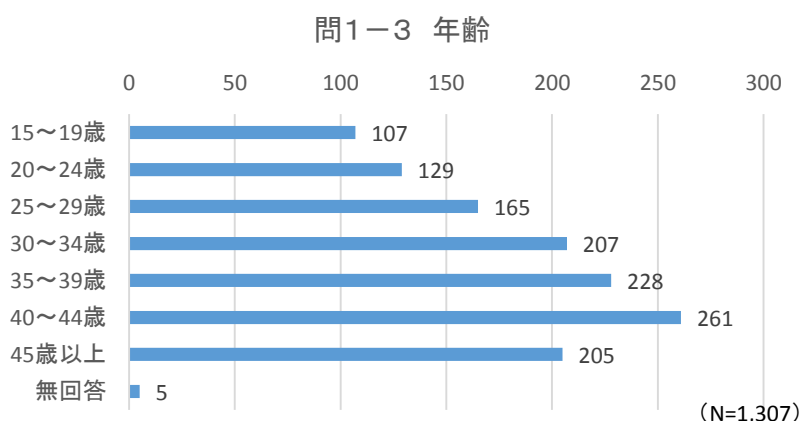
		(票)	(%)
1	男性	489	37.4
2	女性	803	61.4
3	無回答	15	1.1
	合計	1,307	100.0



問1-3 あなたの年齢

回答者の年齢をみると、「40～44歳」が最も多く、歳が若くなるほど回答が少なくなる。

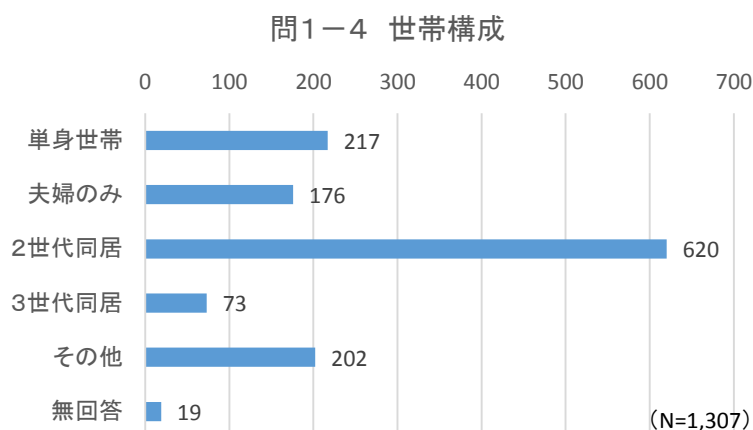
		(票)	(%)
1	15～19歳	107	8.2
2	20～24歳	129	9.9
3	25～29歳	165	12.6
4	30～34歳	207	15.8
5	35～39歳	228	17.4
6	40～44歳	261	20.0
7	45歳以上	205	15.7
8	無回答	5	0.4
	合計	1,307	100.0



問1-4 あなたの世帯構成

回答者の世帯構成をみると、「2世代同居」が最も多く620票（47%）と約半数を占める。

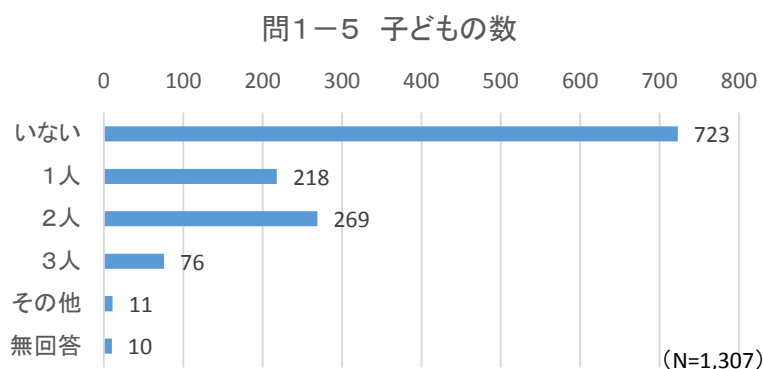
		(票)	(%)
1	単身世帯	217	16.6
2	夫婦のみ	176	13.5
3	2世代同居	620	47.4
4	3世代同居	73	5.6
5	その他	202	15.5
6	無回答	19	1.5
	合計	1,307	100.0



問1-5 子どもの数

子どもの数は「いない」とする人が最も多く、723票（55%）と半数以上を占める。次いで「2人」が269票（21%）、「1人」が218票（17%）となっている。これらのことは、本アンケート調査の回答者の年齢層が比較的若いことなどもあり、回答者の半数以上には子どもがいなく、いたとしても1人～2人であり、少子化傾向を裏付けている。

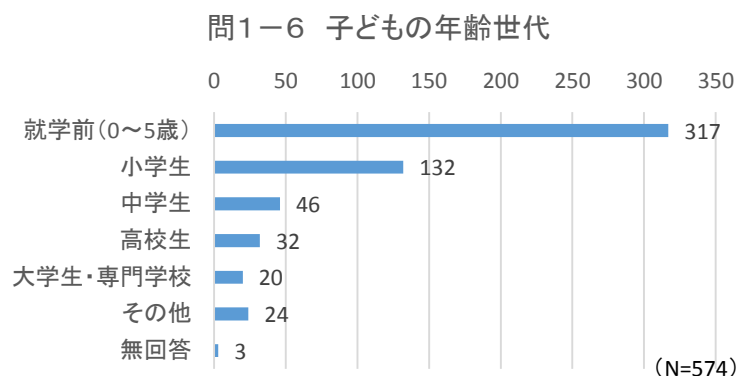
		(票)	(%)
1	いない	723	55.3
2	1人	218	16.7
3	2人	269	20.6
4	3人	76	5.8
5	その他	11	0.8
6	無回答	10	0.8
	合計	1,307	100.0



問1-6 子どもの年齢世代

問1-5で子どもがいると回答した方のうち、317票（55%）が就学前の子どもがいると回答しており、132票（23%）が小学生の子どもがいると回答している。

		(票)	(%)
1	就学前(0~5歳)	317	55.2
2	小学生	132	23.0
3	中学生	46	8.0
4	高校生	32	5.6
5	大学生・専門学校	20	3.5
6	その他	24	4.2
7	無回答	3	0.5
	合計	574	100.0



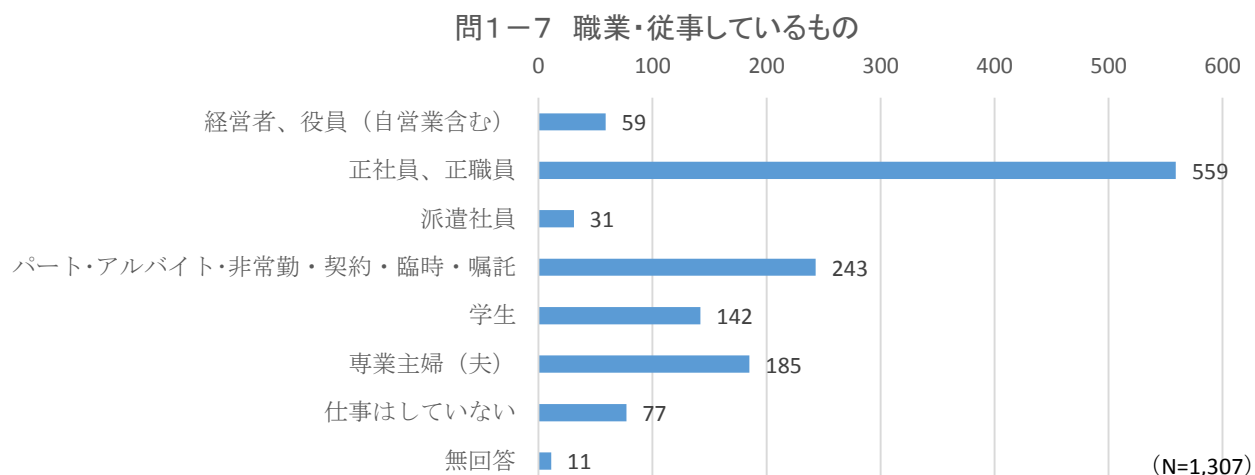
※子どもが2人以上いる場合は、一番年齢が下の子どもについて回答。

問1-7 あなたの職業・従事しているもの

職業・従事しているものでは、「正社員、正職員」が559票（43%）であり、次いで「パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託」が243票（19%）となっている。

一方で、「専業主婦（夫）」が185票（14%）、「仕事はしていない」が77票（6%）と、約2割が就労・就学していない。

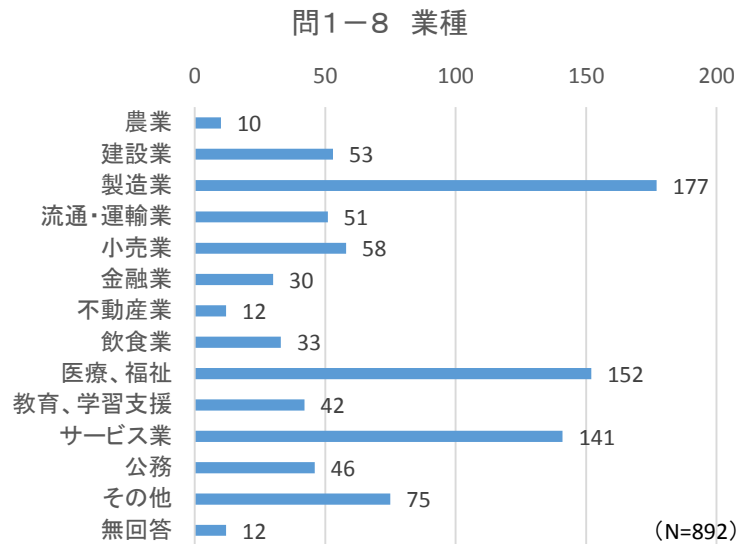
		(票)	(%)
1	経営者、役員(自営業含む)	59	4.5
2	正社員、正職員	559	42.8
3	派遣社員	31	2.4
4	パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	243	18.6
5	学生	142	10.9
6	専業主婦(夫)	185	14.2
7	仕事はしていない	77	5.9
8	無回答	11	0.8
	合計	1,307	100.0



問1-8 あなたが従事している業種

従事している業種は、「製造業」が177票（20%）、「医療、福祉」が152票（17%）、「サービス業」が141票（16%）となっている。

		(票)	(%)
1	農業	10	1.1
2	建設業	53	5.9
3	製造業	177	19.8
4	流通・運輸業	51	5.7
5	小売業	58	6.5
6	金融業	30	3.4
7	不動産業	12	1.3
8	飲食業	33	3.7
9	医療、福祉	152	17.0
10	教育、学習支援	42	4.7
11	サービス業	141	15.8
12	公務	46	5.2
13	その他	75	8.4
14	無回答	12	1.3
	合計	892	100.0



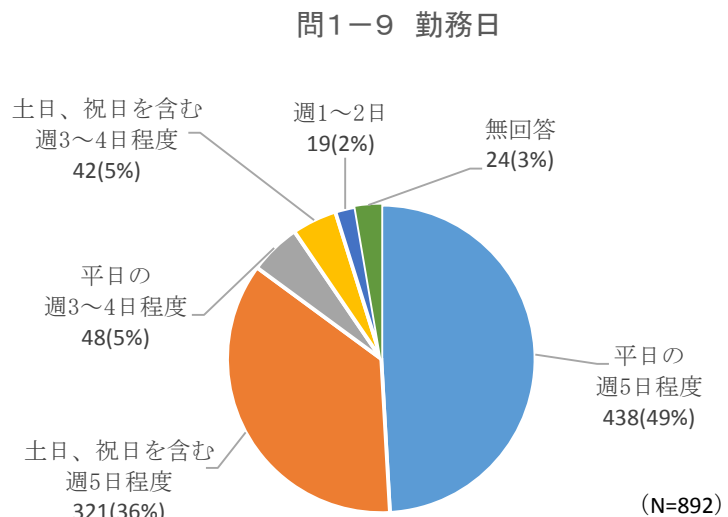
<その他の内訳>

メーカー	1	IT関係	12	土木系コンサル	1
卸売業	4	Web制作業務	1	開発援助	1
建設機械機材賃貸業	1	システム開発業	1	電力	1
食肉加工	1	通信業	3	ガス	1
新聞店店員	1	出版印刷業	6	ガス、水道等の測量	1
スクラップ屋	1	クリエイティブ、デザイン	2	検針	1
自動車钣金	1	デザイン	1	郵便	1
商社	2	マスコミ	1	専門職	1
繊維メーカー	1	販売促進会社	1	事務員	2
マネキン	1	作業所(NPO法人)	1	受付・事務	1
製造販売	1	福祉作業所利用者	1	法務事務	1
輸入関係	2	バレエスタジオ教師	1	税務、会計	1

問1-9 勤務日

就労していると回答した方のうち、勤務日を見ると「平日の週5日程度」が最も多く438票(49%)、次いで「土日、祝日を含む週5日程度」が321票(36%)であり、全体の約8割が週5日程度、勤務していることが分かる。

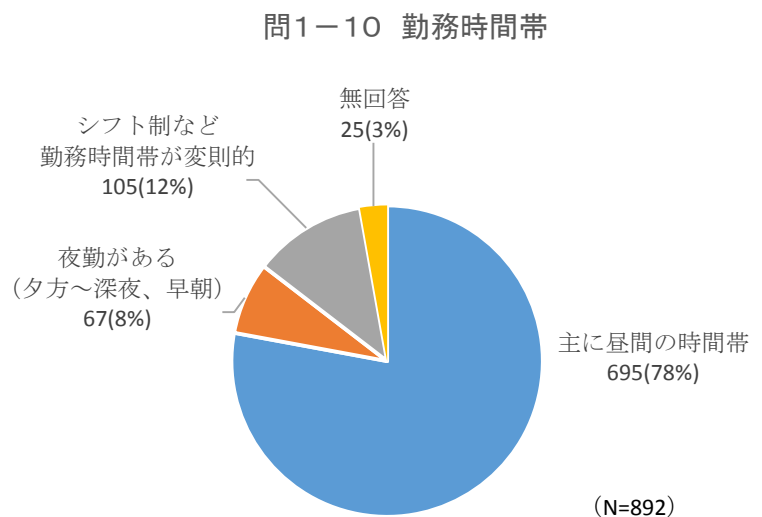
		(票)	(%)
1	平日の週5日程度	438	49.1
2	土日、祝日を含む週5日程度	321	36.0
3	平日の週3~4日程度	48	5.4
4	土日、祝日を含む週3~4日程度	42	4.7
5	週1~2日	19	2.1
6	無回答	24	2.7
	合計	892	100.0



問1-10 勤務時間帯

勤務時間帯は、「主に昼間の時間帯」が最も多く695票(78%)であり、約8割が規則的に昼間の時間帯に働いていることが分かる。

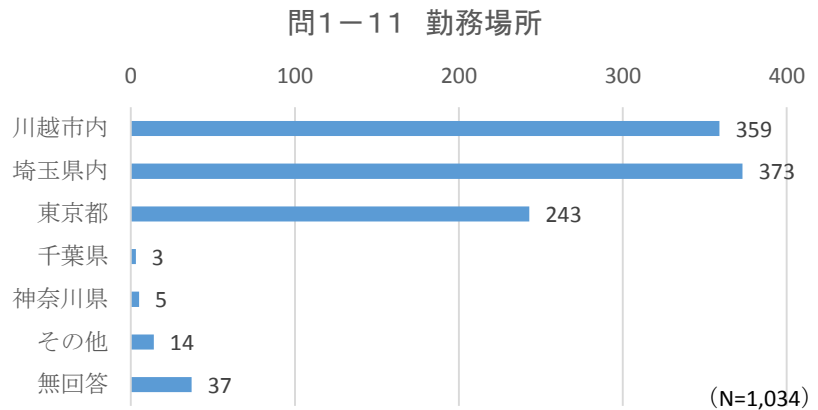
		(票)	(%)
1	主に昼間の時間帯	695	77.9
2	夜勤がある(夕方~深夜、早朝)	67	7.5
3	シフト制など勤務時間帯が変則的	105	11.8
4	無回答	25	2.8
	合計	892	100.0



問1-11 職場・学校の所在地

職場・学校の所在地をみると、「埼玉県内」が最も多く 373 票 (36%)、次いで「川越市内」が 359 票 (35%) であり、「東京都」も 243 票 (24%) であった。全体の約 6 割が川越市外へ通勤・通学していることが分かる。

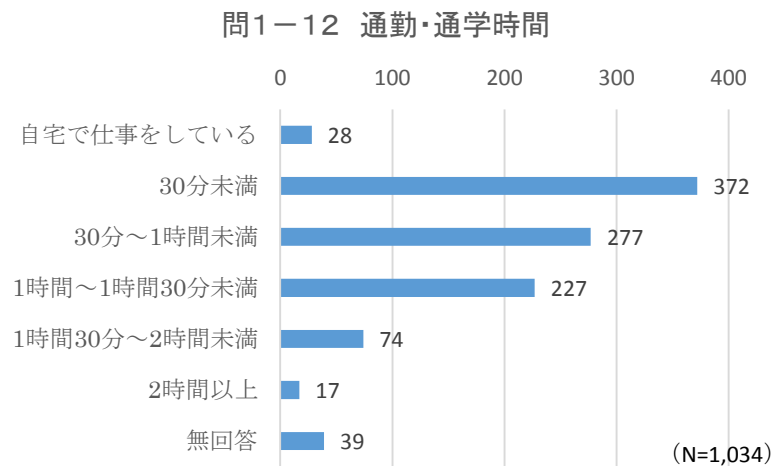
		(票)	(%)
1	川越市内	359	34.7
2	埼玉県内	373	36.1
3	東京都	243	23.5
4	千葉県	3	0.3
5	神奈川県	5	0.5
6	その他	14	1.4
7	無回答	37	3.6
	計	1,034	100.0



問1-12 通勤・通学にかかる時間

通勤・通学にかかる時間では、「30分未満」が最も多く 372 票 (36%)、次いで「30分～1時間未満」が 277 票 (27%) と、全体の 6 割以上が 1 時間以内で通勤・通学している。

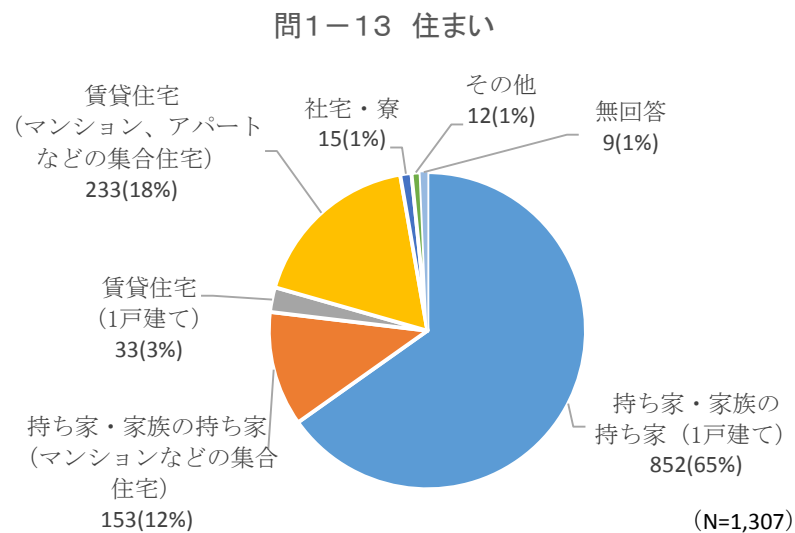
		(票)	(%)
1	自宅で仕事をしている	28	2.7
2	30分未満	372	36.0
3	30分～1時間未満	277	26.8
4	1時間～1時間30分未満	227	22.0
5	1時間30分～2時間未満	74	7.2
6	2時間以上	17	1.6
7	無回答	39	3.8
	計	1,034	100.0



問1-13 住まいの所有状況

住まいの所有状況を見ると、「持ち家・家族の持ち家（1戸建て）」が852票（65%）、次いで「持ち家・家族の持ち家（マンションなどの集合住宅）」が153票（12%）と、全体の7割以上が持ち家に住んでいることが分かる。

		(票)	(%)
1	持ち家・家族の持ち家(1戸建て)	852	65.2
2	持ち家・家族の持ち家(マンションなどの集合住宅)	153	11.7
3	賃貸住宅(1戸建て)	33	2.5
4	賃貸住宅(マンション、アパートなどの集合住宅)	233	17.8
5	社宅・寮	15	1.1
6	その他	12	0.9
7	無回答	9	0.7
	計	1,307	100.0



(2) 結婚や出産、子育てについて

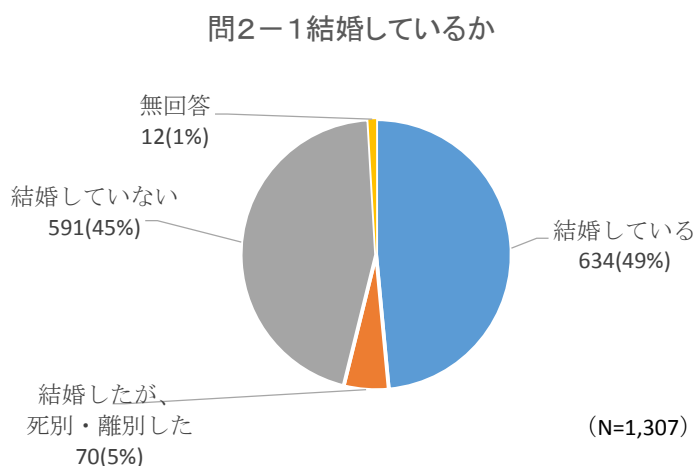
問2-1 結婚しているか

結婚の状況を見ると、「結婚している」が634票(49%)、「結婚していない」が591票(45%)とほぼ半々である。

年齢別に結婚の状況を見ると、30歳以上では各年代とも、約6割が結婚しており、25～29歳では約4割にとどまる。

男女別に結婚の状況を見ると、女性の55%が結婚しているのに対し、男性は37%にとどまる。

		(票)	(%)
1	結婚している	634	48.5
2	結婚したが、死別・離別した	70	5.4
3	結婚していない	591	45.2
4	無回答	12	0.9
	計	1,307	100.0



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
結婚している	1	7	61	122	141	178	123	1	634
死別・離別した	0	0	3	7	12	20	28	0	70
結婚していない	105	121	99	78	74	60	52	2	591
無回答	1	1	2	0	1	3	2	2	12
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

<男女別>

	男性 (票)	割合 (%)	女性 (票)	割合 (%)	無回答 (票)	計 (票)
結婚している	183	37.4	445	55.4	6	634
死別・離別した	21	4.3	48	6.0	1	70
結婚していない	279	57.1	307	38.2	5	591
無回答	6	1.2	3	0.4	3	12
計	489	100.0	803	100.0	15	1,307

問2-2 結婚に対する意向

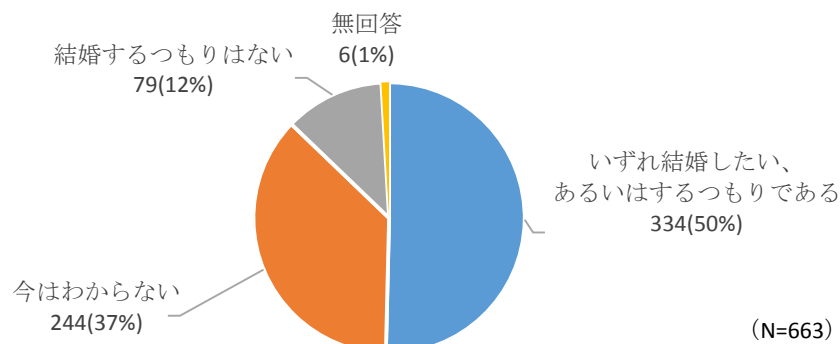
問2-1で「結婚したが、死別・離別した」、「結婚していない」と回答した方の結婚に対する意向をみると、「いずれ結婚したい、あるいはするつもりである」が最も多く334票(50%)、次いで「今はわからない」244票(37%)である。

年齢別に「いずれ結婚したい」と回答する割合をみると、15～19歳の若い世代では約4割にとどまるが、20～24歳では約7割を占める。35歳以上になると、「結婚するつもりはない」の割合が増加する。

男女別にみると、女性の55%が「いずれ結婚したい」と回答しているのに対し、男性は45%にとどまる。男女ともに、約1割程度の人が「結婚するつもりはない」としている。

		(票)	(%)
1	いずれ結婚したい、あるいはするつもりである	334	50.4
2	今はわからない	244	36.8
3	結婚するつもりはない	79	11.9
4	無回答	6	0.9
	計	663	100.0

問2-2結婚意向



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
いずれ結婚したい	42	81	67	51	44	32	16	1	334
今は分からない	52	30	28	31	32	32	38	1	244
結婚するつもりはない	9	9	9	3	11	15	23	0	79
無回答	2	1	0	0	0	0	3	0	6
計	105	121	104	85	87	79	80	2	663

<男女別>

	男性 (票)	割合 (%)	女性 (票)	割合 (%)	無回答 (票)	計 (票)
いずれ結婚したい	137	45.5	196	55.1	1	334
今は分からない	118	39.2	122	34.3	4	244
結婚するつもりはない	41	13.6	37	10.4	1	79
無回答	5	1.7	1	0.3	0	6
計	301	100.0	356	100.0	6	663

問2-3 結婚するために必要な条件

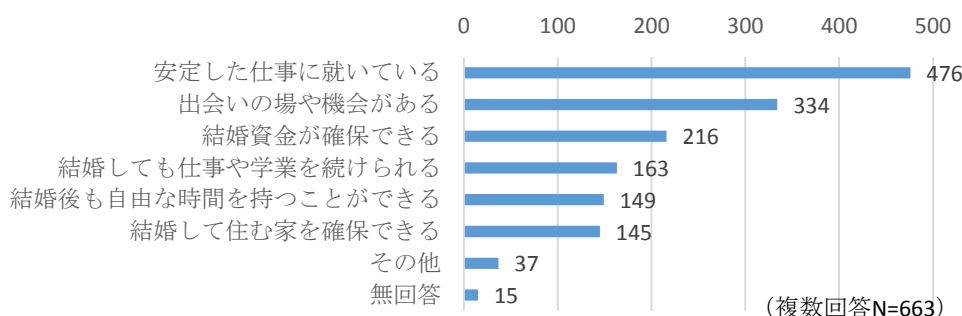
結婚するために必要な条件をみると、「安定した仕事に就いている」が最も多く 476 票 (72%) である。年齢別にみると、この傾向は同様であり、特に 15～19 歳、20～24 歳で顕著である。

男女別にみると、男女ともに「安定した仕事に就いている」が最も多いが、男性は「結婚資金が確保できる」の回答が多く、女性は「結婚しても仕事や学業を続けられる」の回答が多い。

	複数回答 N=663	(票)	(%)
1 安定した仕事に就いている	476	476	71.8
2 出会いの場や機会がある	334	334	50.4
3 結婚資金が確保できる	216	216	32.6
4 結婚しても仕事や学業を続けられる	163	163	24.6
5 結婚後も自由な時間を持つことができる	149	149	22.5
6 結婚して住む家を確保できる	145	145	21.9
7 その他	37	37	5.6
8 無回答	15	15	2.3

※複数回答のため、割合の合計は 100.0%にはなりません。

問2-3結婚に必要な条件



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
安定した仕事に就いている	77	82	76	68	62	58	50	3	476
出会いの場や機会がある	37	50	51	58	50	48	39	1	334
結婚資金が確保できる	26	47	52	31	23	21	15	1	216
結婚しても仕事や学業を続けられる	29	28	22	27	22	24	11	0	163
結婚後も自由な時間を持つことができる	22	25	22	26	22	16	15	1	149
結婚して住む家を確保できる	32	29	18	13	20	17	15	1	145
その他	5	4	3	6	9	4	6	0	37
無回答	3	4	2	1	1	1	3	0	15

<男女別>

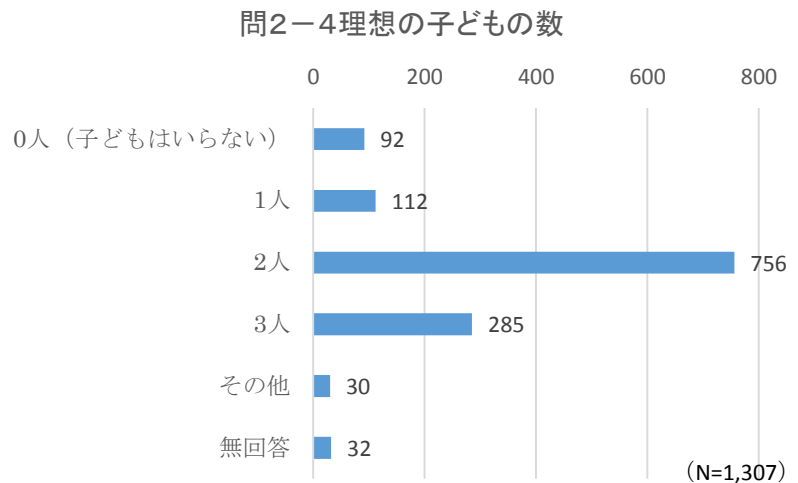
(男性 277 人、女性 381 人、性別無回答 5 人)

	男性(票)	割合(%)	女性(票)	割合(%)	無回答(票)	計(票)
安定した仕事に就いている	200	72.2	272	71.4	4	476
出会いの場や機会がある	143	51.6	187	49.1	4	334
結婚資金が確保できる	108	39.0	105	27.6	3	216
結婚しても仕事や学業を続けられる	38	13.7	123	32.3	2	163
結婚後も自由な時間を持つことができる	50	18.1	99	26.0	0	149
結婚して住む家を確保できる	59	21.3	86	22.6	0	145
その他	12	4.3	25	6.6	0	37
無回答	10	3.6	5	1.3	0	15

問2-4 理想の子どもの数

理想の子どもの数をみると、「2人」が最も多く756票(58%)、次いで「3人」が285票(22%)である。この傾向は、年齢別、男女別にみても同様である。

		(票)	(%)
1	0人(子どもはいらない)	92	7.0
2	1人	112	8.6
3	2人	756	57.8
4	3人	285	21.8
5	その他	30	2.3
6	無回答	32	2.4
		100.0	1,307



その他の自由回答

	(票)
4人	10
5人	2
4~5人	1
4~6人	1
考えない、分からない、未定など	16

<年齢別>

	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上	無回答	計
0人	9	6	10	4	13	24	26	0	92
1人	13	12	10	18	15	29	15	0	112
2人	66	92	103	125	124	140	105	1	756
3人	14	15	38	56	63	55	43	1	285
その他	3	2	3	3	8	4	7	0	30
無回答	2	2	1	1	5	9	9	3	32
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

<男女別>

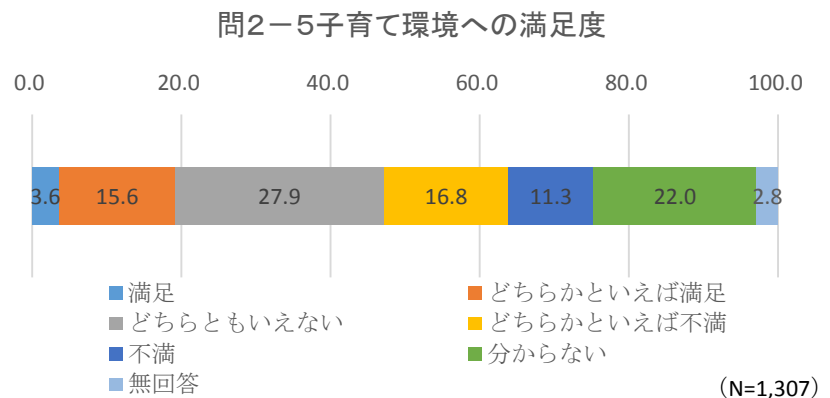
	男性 (票)	割合 (%)	女性 (票)	割合 (%)	無回答 (票)	計 (票)
0人	38	7.8	54	6.7	0	92
1人	39	8.0	72	9.0	1	112
2人	310	63.4	440	54.8	6	756
3人	76	15.5	205	25.5	4	285
その他	10	2.0	19	2.4	1	30
無回答	16	3.3	13	1.6	3	32
計	489	100.0	803	100.0	15	1,307

問2-5 子育て環境の満足度

子育て環境の満足度をみると、「満足」47票(4%)、「どちらかといえば満足」204票(16%)であり、約2割がおおむね満足している。一方で「どちらかといえば不満」219票(17%)、「不満」148票(11%)であり、約3割が不満を感じている。

この傾向は、年齢別にみても、各年代で同様であるが、本市の子育て施策によるサービスを楽しんでいると考えられる30～44歳においては、2割を超えておおむね満足している。

		(票)	(%)
1	満足	47	3.6
2	どちらかといえば満足	204	15.6
3	どちらともいえない	365	27.9
4	どちらかといえば不満	219	16.8
5	不満	148	11.3
6	分からない	287	22.0
7	無回答	37	2.8
	計	1,307	100.0



<年齢別>

(%)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
満足	3.7	0.8	2.4	3.4	3.1	7.3	2.4	0.0	3.6
どちらかといえば満足	11.2	9.3	15.2	16.9	22.4	15.3	14.1	0.0	15.6
どちらともいえない	12.1	27.1	30.9	27.5	28.1	30.7	31.7	0.0	27.9
どちらかといえば不満	11.2	13.2	17.0	21.3	18.9	14.2	18.0	20.0	16.8
不満	8.4	7.8	9.1	15.5	9.2	13.4	12.2	20.0	11.3
分からない	52.3	41.1	24.8	12.1	16.7	14.6	17.1	20.0	22.0
無回答	0.9	0.8	0.6	3.4	1.8	4.6	4.4	40.0	2.8
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問2-6 出産や子育て環境を改善するために必要な取組

出産や子育て環境を改善するために必要な取組をみると、「保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減」が最も多く805票（62%）、次いで「育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備」が587票（45%）である。

この傾向は、年齢別にみても各年代で同様であるが、30～44歳では特に「保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減」の回答が多い。

		複数回答 N=1,307	(票)	(%)
1	保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減	805		61.6
2	育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備	587		44.9
3	ワーク・ライフ・バランスの推進	497		38.0
4	保育環境の充実	441		33.7
5	医療費負担の軽減	344		26.3
6	子どもの学習・教育環境の充実	277		21.2
7	妊娠・出産・子育てへの総合的な相談体制の充実	175		13.4
8	生命の大切さ、家庭や地域の大切さ等の価値観の醸成	128		9.8
9	多子世帯への支援	123		9.4
10	その他	56		4.3
11	無回答	29		2.2

※複数回答のため、割合の合計は100.0%にはなりません。

<年齢別>

									(票)
	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減	62	84	109	138	142	156	112	2	805
育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備	67	62	76	85	98	102	96	1	587
ワーク・ライフ・バランスの推進	32	54	60	82	92	103	73	1	497
保育環境の充実	22	37	63	82	93	76	66	2	441
医療費負担の軽減	35	39	42	54	48	76	49	1	344
子どもの学習・教育環境の充実	18	21	33	35	52	67	50	1	277
妊娠・出産・子育てへの総合的な相談体制の充実	9	18	26	32	32	32	26	0	175
生命の大切さ、家庭や地域の大切さ等の価値観の醸成	13	11	19	18	22	25	19	1	128
多子世帯への支援	7	3	18	27	28	25	15	0	123
その他	4	8	5	11	5	12	11	0	56
無回答	2	2		2	4	10	7	2	29

<その他の意見>

問1-5で子どもがいると回答した方

PTA、自治会、育成会等の負担軽減。
家より近隣の保育園に入所できるようにする。待機児童なし。
育児にかかる経済的な補助(入学・通学・医療等への支援)。
インフルエンザワクチン等の補助。
多子、母子の減税を望む。収入があっても学費がかかるので、増税となるのは不満です。小さい子ばかりの支援は変だと思う。
学童の考え方の改善(保育と同等にするなど)。
公園など子供がめいっぱい遊べる場所。
高学歴の学費補助(大学)。
公共交通機関の充実(通勤時間の)。
公道の歩道整備、拡幅計画の促進、道路内電柱の移設、見通し等の確保、移動を安心して行えるハード面の整備や、ゾーン30の指定、一方通行の指定など、ソフト面での整備実現可能性の高いものから市民と協働で計画を作っていくのが効果的かもしれない。
公立学校にクーラーを設置してほしい。
公立小中学校の学区見直しまたは、学校選択の自由化。
子どもが安心して遊べる地域の小さい公園・広場の設置。
子どもが近隣住民に気を使わないで思い切り安全に遊べる場所をたくさん確保してほしい。
子どもがのびのび遊べ、かつ大人がいじめや非行に目を光らせている環境。
差別の無い子育て環境。
産科の充実。
産休の間も給料が保証されれば産めるが共働きじゃなきゃ生活できない。
児童館、公園を増やしてほしい。
住環境の整備。
出産育児一時金を収入額によってプラスしてほしい。
小学校低学年の送り迎えや旗当番等を仕事の午前休をとってやらねばいけないとなると、なかなか仕事復帰(正社員)は難しいため、パートやアルバイトではなく正社員として女性が長く働ける環境づくりを強く希望します。
住まい周辺にもっと自然に触れられる場所があればと思う。
近くに公園が少ない。夏休み中、学校のプールを開放してほしい。都内に比べると日数が少なすぎる。
不妊治療に対する支援。
保育所入所条件の見直し。今のままだと第二子、第三子をもうけ辛い。
母子家庭への支援(年齢関係なく)。
児童精神科の充実が必要。
もっと若い人達が安心して出産子育てできるような手当てが増えれば子供を産む人も増えると思う。

問1-5で子どもがいないと回答した方

1人出産するたびにお祝い金が出る。
お年寄りと子どもの交流。
大人の教育。
川越市は役員が大変すぎる。
虐待防止。
共同体の一員である自覚と共同体で守るべき責任意識。
金銭的な補助よりも、自立して子どもを養える環境を整える。
現実的に共働きでないと子育ては出来ない場合が多いので、女性の家事負担を軽減する施策や男性も家事を積極的に負担する意識改革が必要。
現状で充分だと思う。
子育て環境の詳しい実情を地域住民に広く理解してもらった上での協力を仰ぐこと。
子育て支援ばかり取り上げていますがそれ以前の問題です。 産休復帰の方々のしわ寄せが独身の私たちに来ているので婚活する時間も気力も無い。 日本の会社はまだまだワーク・ライフ・バランスができる基盤ができていない。
根本的に出産や子育てに対する意識改革。理解も改善もしようと考えていない。 男性や政治家が国会、社会にいる限り何の解決にもならない。 社会自体が変わらない限りこれから出産や結婚を控えている人はとても安心できない。
自己責任の意識付け。
自転車専用道路を作ったりし、街全体の安全をより良くしてほしい。
女性が長時間労働しないとキャリアが上がらないのはおかしい。
地域人と連携の為に地域ぐるみのイベントなど行ってみてはどうか。
手当てで無く環境。
母親が外で働かなくても生活できる父親の安定した仕事が必要。
不妊治療費やその検査費の金銭的サポートの充実。
ゆとり教育の全廃。

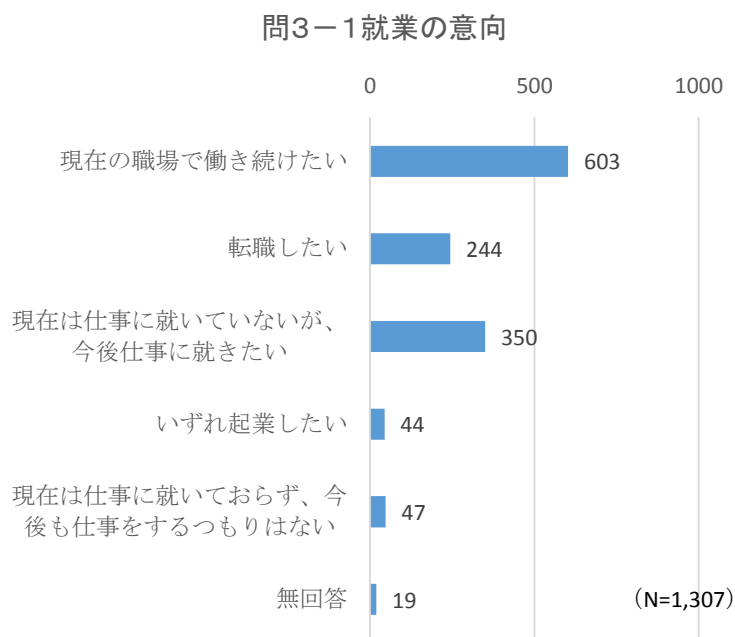
(3) 就職、転職、再就職・起業の意向

問3-1 今後の就業意向

今後の就業意向をみると、「現在の職場で働き続けたい」が最も多く 603 票（46%）、次いで「現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい」が 350 票（27%）である。

この傾向は、25 歳以上の各年代で同様である。「今後も仕事をするつもりはない」としているのは、各世代とも少数である。

		(票)	(%)
1	現在の職場で働き続けたい	603	46.1
2	転職したい	244	18.7
3	現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい	350	26.8
4	いずれ起業したい	44	3.4
5	現在は仕事に就いておらず、今後も仕事をするつもりはない	47	3.6
6	無回答	19	1.5
	計	1,307	100.0



<年齢別>

	(票)								
	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
現在の職場で働き続けたい	5	45	84	98	115	140	115	1	603
転職したい	3	22	47	44	47	45	35	1	244
現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい	91	53	22	52	52	50	29	1	350
いずれ起業したい	0	6	7	6	7	12	6	0	44
現在は仕事に就いておらず、今後も仕事をするつもりはない	5	2	3	7	5	9	16	0	47
無回答	3	1	2	0	2	5	4	2	19
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

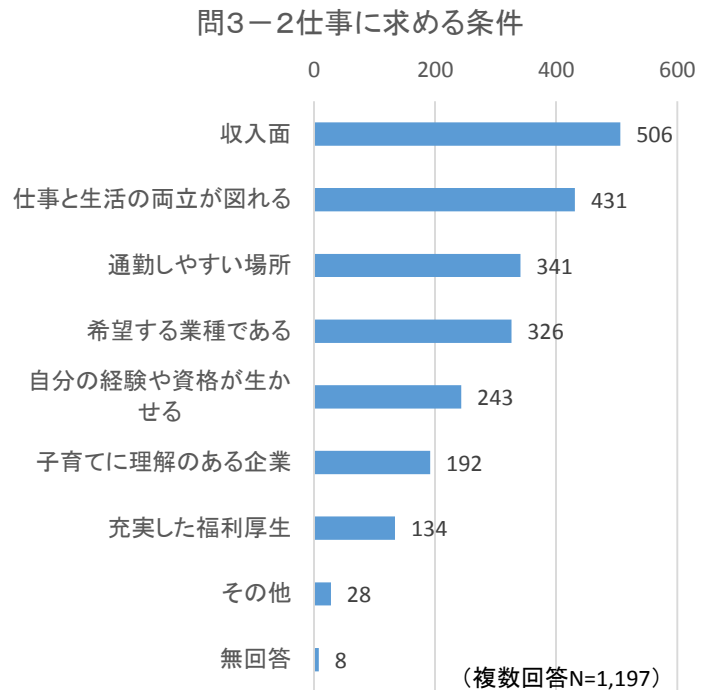
問3-2 仕事に求める条件

仕事に求める条件をみると、「収入面」が最も多く 506 票 (42%)、次いで「仕事と生活の両立が図れる」が 431 票 (36%)、「通勤しやすい場所」が 341 票 (29%) となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年代で「収入面」が最も多いが、15～19 歳では「希望する業種である」が最も多い。また、35 歳以上では「仕事と生活の両立が図れる」の回答も多い。

複数回答 N=1,197		(票)	(%)
1	収入面	506	42.3
2	仕事と生活の両立が図れる	431	36.0
3	通勤しやすい場所	341	28.5
4	希望する業種である	326	27.2
5	自分の経験や資格が活かせる	243	20.3
6	子育てに理解のある企業	192	16.0
7	充実した福利厚生	134	11.2
8	その他	28	2.3
9	無回答	8	0.7

※複数回答のため、割合の合計は 100.0% にはなりません。



<年齢別>

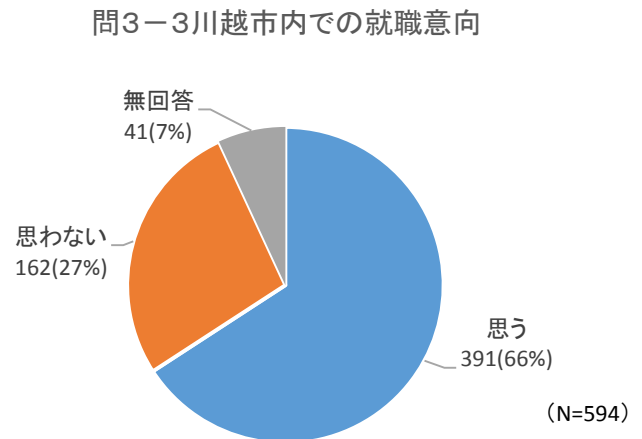
	(票)								計
	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45 歳以上	無回答	
収入面	43	58	78	71	81	100	72	3	506
仕事と生活の両立が図れる	20	41	58	70	87	80	74	1	431
通勤しやすい場所	15	32	39	54	71	72	57	1	341
希望する業種である	57	42	42	40	49	57	38	1	326
自分の経験や資格が活かせる	25	17	18	36	42	59	46	0	243
子育てに理解のある企業	5	6	25	63	48	33	12	0	192
充実した福利厚生	16	21	27	21	18	19	12	0	134
その他	1	6	1	3	7	3	7	0	28
無回答	2	0	0	3	0	2	1	0	8

問3-3 川越市内での就職意向

川越市内での就職意向をみると、「思う」が 391 票（66%）であり、「思わない」の約 2 倍となっている。

年齢別にみると、若い世代ほど「思わない」の率が高く、40 歳以上では 8 割以上が「思う」を選択している。

		(票)	(%)
1	思う	391	65.8
2	思わない	162	27.3
3	無回答	41	6.9
	計	594	100.0



<年齢別>

(票)

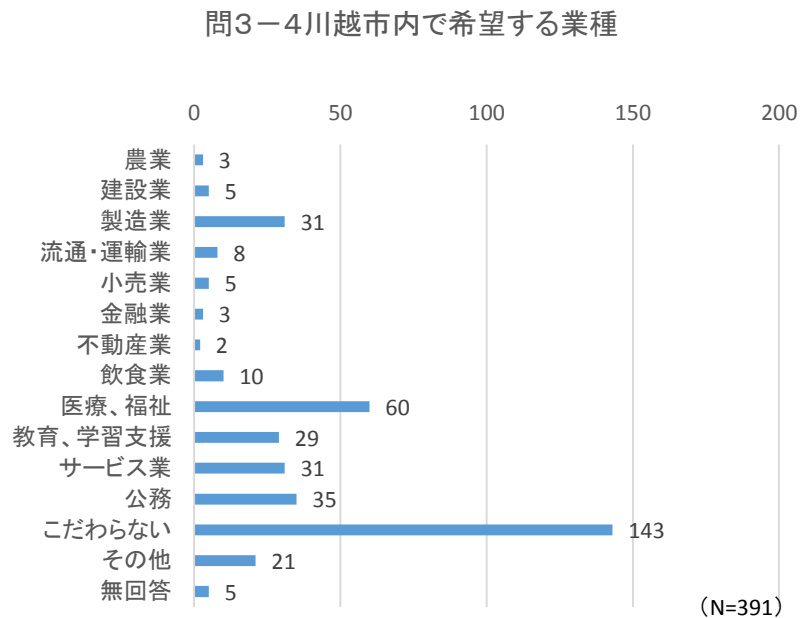
	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
思う	36	37	45	69	75	73	54	2	391
思わない	47	30	20	22	18	18	7	0	162
無回答	11	8	4	5	6	4	3	0	41
計	94	75	69	96	99	95	64	2	594

問3-4 川越市内で就職、転職、再就職する際の希望する業種

川越市内で希望する業種をみると、「こだわらない」が最も多く 143 票 (37%)、次いで「医療、福祉」が 60 票 (15%) となっている。

年齢別にみると、おおむねの年代で「こだわらない」が最も多いが、15～19 歳のまだ働いていない世代では、「医療、福祉」や「公務」が最も多くなっている。

	(票)	(%)
1 農業	3	0.8
2 建設業	5	1.3
3 製造業	31	7.9
4 流通・運輸業	8	2.0
5 小売業	5	1.3
6 金融業	3	0.8
7 不動産業	2	0.5
8 飲食業	10	2.6
9 医療、福祉	60	15.3
10 教育、学習支援	29	7.4
11 サービス業	31	7.9
12 公務	35	9.0
13 こだわらない	143	36.6
14 その他	21	5.4
15 無回答	5	1.3
計	391	100.0



<年齢別>

	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
農業	0	0	0	2	0	0	1	0	3
建設業	1	0	2	2	0	0	0	0	5
製造業	3	2	4	7	6	4	5	0	31
流通・運輸業	1	1	0	2	1	3	0	0	8
小売業	0	2	0	1	1	0	1	0	5
金融業	0	0	0	0	0	2	1	0	3
不動産業	0	0	0	0	0	1	1	0	2
飲食業	0	0	1	3	1	3	2	0	10
医療、福祉	8	7	5	12	14	9	5	0	60
教育、学習支援	3	0	3	7	6	6	4	0	29
サービス業	3	3	2	4	11	3	5	0	31
公務	8	8	3	4	3	5	3	1	35
こだわらない	7	12	23	22	27	32	19	1	143
その他	2	1	2	2	4	3	7	0	21
無回答	0	1	0	1	1	2	0	0	5
計	36	37	45	69	75	73	54	2	391

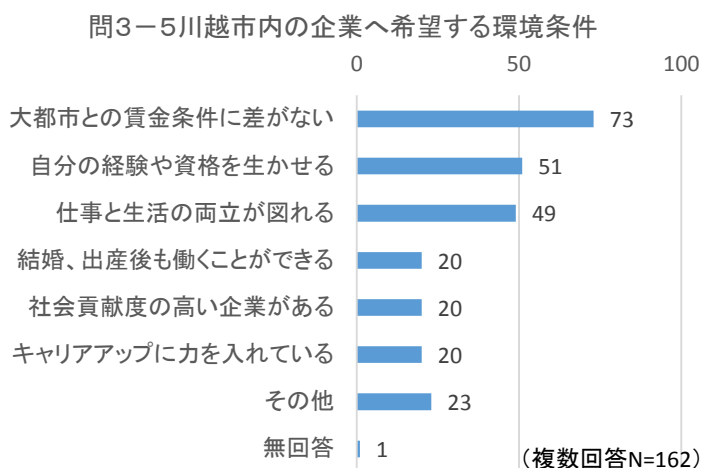
問3-5 川越市内の企業に就職する際の環境条件

川越市内の企業に就職する際の環境条件をみると、「大都市との賃金条件に差がない」が最も多く 73 票 (45%)、次いで「自分の経験や資格を生かせる」が 51 票 (32%)、「仕事と生活の両立が図れる」が 49 票 (30%) である。

年齢別にみると、上位を占めるものは同様であるが、中でも若い世代では「大都市との賃金条件に差がない」に票が多いが、35歳以上では「自分の経験や資格を生かせる」に票が多い。

複数回答 N=162 (票) (%)

順位	環境条件	票数	割合 (%)
1	大都市との賃金条件に差がない	73	45.1
2	自分の経験や資格を生かせる	51	31.5
3	仕事と生活の両立が図れる	49	30.2
4	結婚、出産後も働くことができる	20	12.3
5	社会貢献度の高い企業がある	20	12.3
6	キャリアアップに力を入れている	20	12.3
7	その他	23	14.2
8	無回答	1	0.6



※複数回答のため、割合の合計は 100.0% にはなりません。

<年齢別>

(票)

	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上	無回答	計
大都市との賃金条件に差がない	20	12	10	12	7	8	4	0	73
自分の経験や資格を生かせる	14	9	5	6	9	7	1	0	51
仕事と生活の両立が図れる	10	6	8	8	8	5	4	0	49
結婚、出産後も働くことができる	7	2	5	4	2	0	0	0	20
社会貢献度の高い企業がある	10	7	2	0	1	0	0	0	20
キャリアアップに力を入れている	4	4	4	1	4	3	0	0	20
その他	8	5	2	4	1	2	1	0	23
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	1

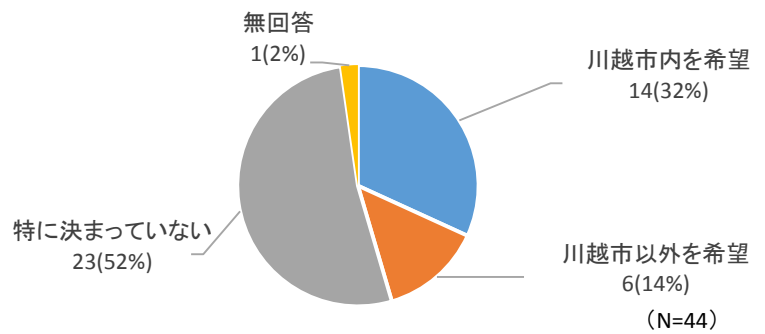
問3-6 起業する場所は川越市内を希望するか

川越市内での起業意向をみると、「特に決まっていない」が最も多く 23 票(52%)、次いで「川越市内を希望」が 14 票 (32%) である。

年齢別にみてもおおむね同様であるが、「川越市以外を希望」すると回答した人は 40～44 歳で最も多い。

	(票)	(%)
1 川越市内を希望	14	31.8
2 川越市以外を希望	6	13.6
3 特に決まっていない	23	52.3
4 無回答	1	2.3
計	44	100.0

問3-6川越市内での起業意向



<年齢別>

(票)

	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
川越市内を希望	0	2	3	1	2	4	2	0	14
川越市以外を希望	0	0	1	1	1	3	0	0	6
特に決まっていない	0	4	3	4	4	5	3	0	23
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	0	6	7	6	7	12	6	0	44

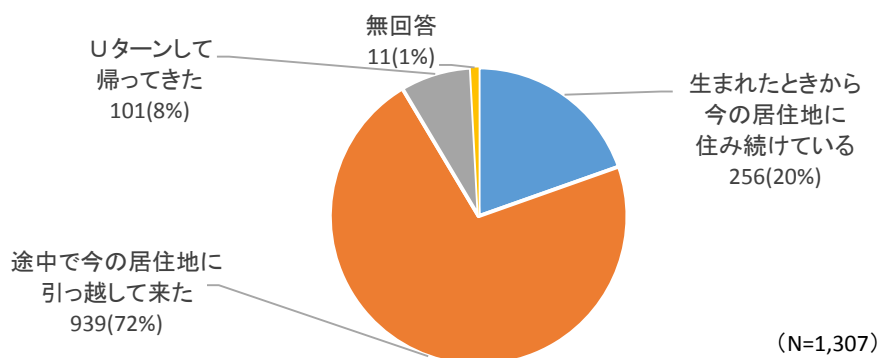
(4) 住まいに関する意向

問4-1 いつから今の居住地に住んでいるか

いつから今の居住地に住んでいるかをみると、「途中で今の居住地に引っ越して来た」が939票(72%)と最も多い。

		(票)	(%)
1	生まれたときから今の居住地に住み続けている	256	19.6
2	途中で今の居住地に引っ越して来た	939	71.8
3	Uターンして帰ってきた	101	7.7
4	無回答	11	0.8
	計	1,307	100.0

問4-1いつから住んでいるか



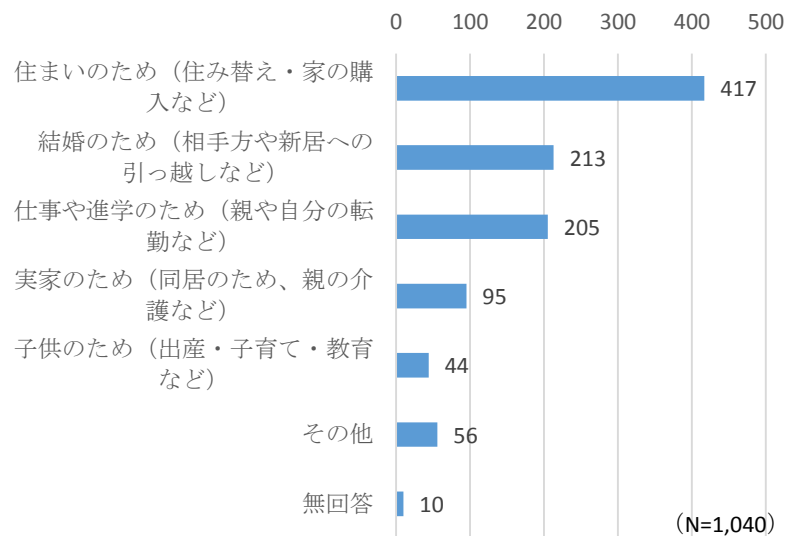
問4-2 今の居住地に引っ越すことになったきっかけ

今の居住地に引っ越すことになったきっかけをみると、「住まいのため」が最も多く417票（40%）、次いで「結婚のため」が213票（21%）、「仕事や進学のため」が205票（20%）である。

年齢別にみると、おおむねの年代で「住まいのため」「結婚のため」「仕事や進学のため」が上位を占める。

		(票)	(%)
1	住まいのため(住み替え・家の購入など)	417	40.1
2	結婚のため(相手方や新居への引っ越しなど)	213	20.5
3	仕事や進学のため(親や自分の転勤など)	205	19.7
4	実家のため(同居のため、親の介護など)	95	9.1
5	子供のため(出産・子育て・教育など)	44	4.2
6	その他	56	5.4
7	無回答	10	1.0
	計	1,040	100.0

問4-2今の居住地に引っ越すことになったきっかけ



<年齢別>

(票)

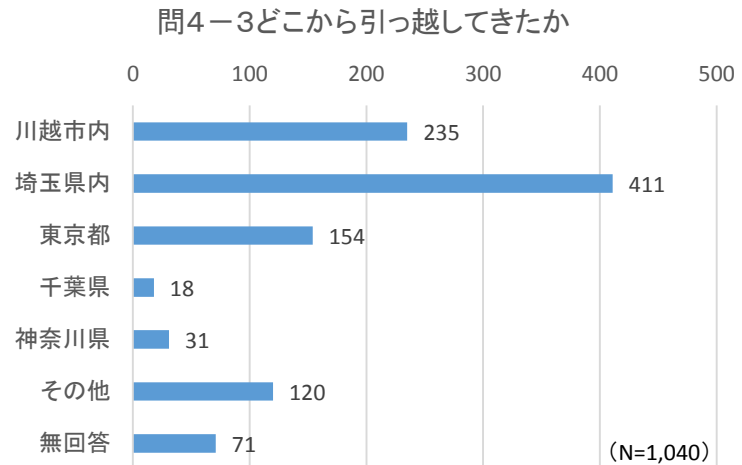
	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
住まいのため (住み替え・家の購入など)	35	39	42	60	70	102	68	1	417
結婚のため (相手方や新居への引っ越しなど)	0	4	31	38	46	56	38	0	213
仕事や進学のため (親や自分の転勤など)	11	25	35	42	34	28	29	1	205
実家のため (同居のため、親の介護など)	3	13	8	13	24	17	17	0	95
子供のため (出産・子育て・教育など)	3	1	4	3	14	15	3	1	44
その他	4	5	8	6	4	10	19	0	56
無回答	0	0	1	2	1	3	3	0	10
計	56	87	129	164	193	231	177	3	1,040

問4-3 どこから引っ越してきたか

回答者が今の居住地にどこから引っ越してきたかをみると、「埼玉県内」が最も多く 411 票（40%）、次いで「川越市内」が 235 票（23%）、「東京都」が 154 票（15%）である。

この傾向は、年齢別にみてもおおむね同様である。

		(票)	(%)
1	川越市内	235	22.6
2	埼玉県内	411	39.5
3	東京都	154	14.8
4	千葉県	18	1.7
5	神奈川県	31	3.0
6	その他	120	11.5
7	無回答	71	6.8
	計	1,040	100.0



<年齢別>

(票)

	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
川越市内	17	22	33	30	38	61	34	0	235
埼玉県内	22	29	51	73	81	85	69	1	411
東京都	2	13	20	19	31	31	37	1	154
千葉県	1	3	3	4	2	1	4	0	18
神奈川県	2	1	4	8	6	7	3	0	31
その他	10	14	15	21	19	22	18	1	120
無回答	2	5	3	9	16	24	12	0	71
計	56	87	129	164	193	231	177	3	1,040

問4-4 なぜ川越に住もうと思ったか

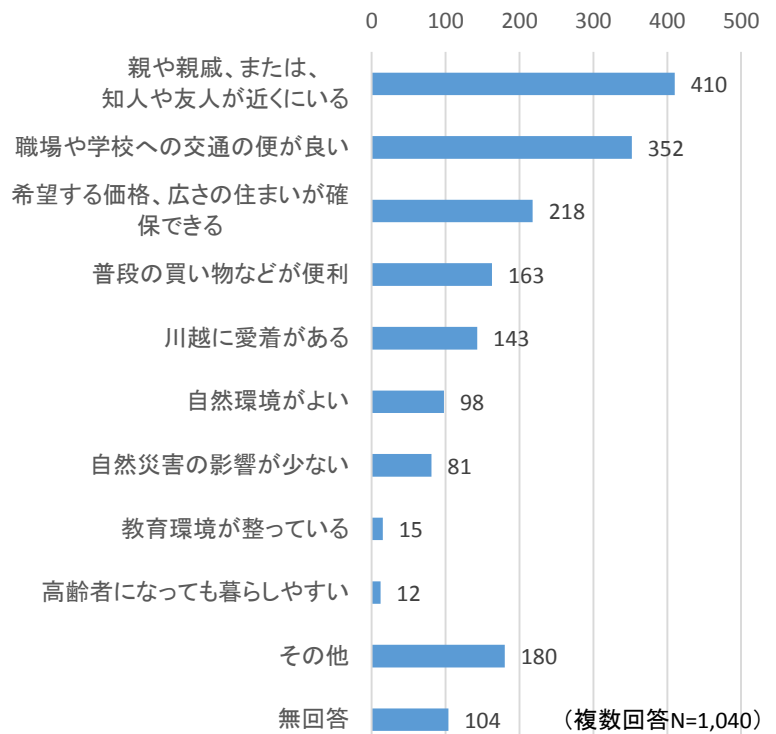
川越に住もうと思ったか理由をみると、「親や親戚、または、知人や友人が近くにいる」が最も多く410票（39%）、次いで「職場や学校への交通の便が良い」が352票（34%）である。

年齢別にみると、どの年代も、「親や親戚、または、知人や友人が近くにいる」及び「職場や学校への交通の便が良い」が上位を占める。

複数回答 N=1,040 (票) (%)

順位	理由	票数	割合 (%)
1	親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	410	39.4
2	職場や学校への交通の便が良い	352	33.8
3	希望する価格、広さの住まいが確保できる	218	21.0
4	普段の買い物などが便利	163	15.7
5	川越に愛着がある	143	13.8
6	自然環境がよい	98	9.4
7	自然災害の影響が少ない	81	7.8
8	教育環境が整っている	15	1.4
9	高齢者になっても暮らしやすい	12	1.2
10	その他	180	17.3
11	無回答	104	10.0
	計	1,040	100.0

問4-4川越に住もうと思った理由



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	16	38	53	60	85	96	61	1	410
職場や学校への交通の便が良い	16	27	48	63	67	67	62	2	352
希望する価格、広さの住まいが確保できる	8	9	26	44	40	60	31	0	218
普段の買い物などが便利	1	13	22	24	32	35	35	1	163
川越に愛着がある	6	10	18	22	25	31	31	0	143
自然環境がよい	2	5	11	5	25	31	19	0	98
自然災害の影響が少ない	4	1	8	14	21	19	14	0	81
教育環境が整っている	0	2	0	2	3	4	4	0	15
高齢者になっても暮らしやすい	1	0	1	1	1	3	5	0	12
その他	14	21	23	25	29	31	37	0	180
無回答	7	8	9	13	19	31	17	0	104

問 4-5 川越に住み続けたいか

本市への定住意向をみると、「住み続けたい」が 838 票（64%）と最も多く、「就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい」86 票（7%）とあわせると、約 7 割が川越に住み続けることを希望していることが分かる。

この傾向は、年齢別にみても同様である。

		(票)	(%)
1	住み続けたい	838	64.1
2	就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい	86	6.6
3	住み続けるか引っ越しをするか迷っている	263	20.1
4	川越市外に引っ越しをしたい	99	7.6
5	無回答	21	1.6
	計	1,307	100.0

<年齢別>

(票)

	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回 答	計
住み続けたい	52	57	95	132	161	189	150	2	838
就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい	20	20	15	9	12	3	7	0	86
住み続けるか引っ越しをするか迷っている	20	35	40	47	39	49	33	0	263
川越市外に引っ越しをしたい	11	16	14	17	13	17	10	1	99
無回答	4	1	1	2	3	3	5	2	21
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

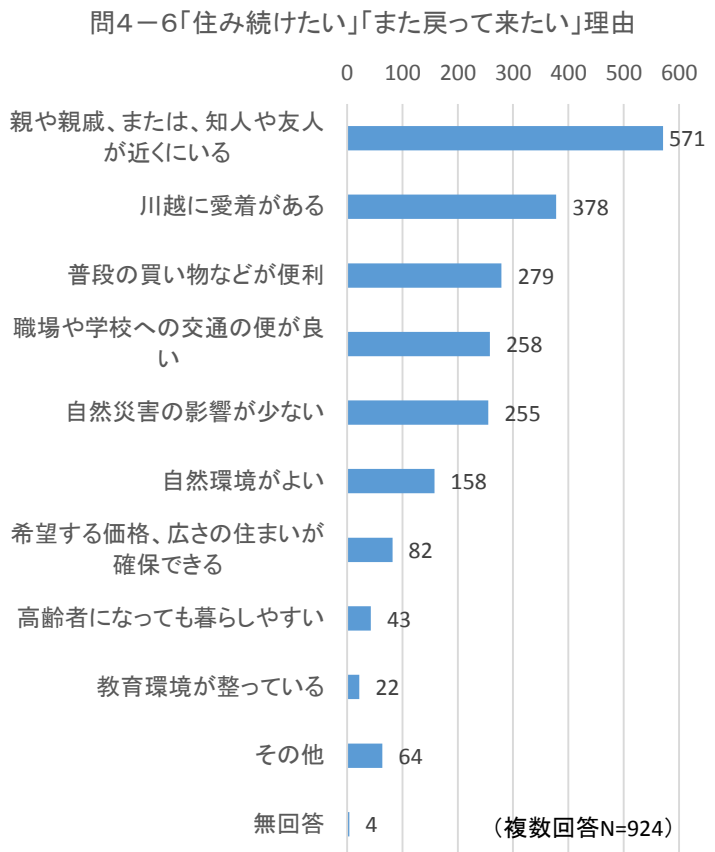
問4-6 「住み続けたい」「また戻って来たい」理由

「住み続けたい」「また戻って来たい」理由をみると、「親や親戚、または、知人や友人が近くにいる」が最も多く 571 票 (62%)、「川越に愛着がある」が 378 票 (41%) である。

この傾向は、年齢別にみても同様である。

	複数回答 N=924	(票)	(%)
1	親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	571	61.8
2	川越に愛着がある	378	40.9
3	普段の買い物などが便利	279	30.2
4	職場や学校への交通の便が良い	258	27.9
5	自然災害の影響が少ない	255	27.6
6	自然環境がよい	158	17.1
7	希望する価格、広さの住まいが確保できる	82	8.9
8	高齢者になっても暮らしやすい	43	4.7
9	教育環境が整っている	22	2.4
10	その他	64	6.9
11	無回答	4	0.4

※複数回答のため、割合の合計が 100.0%にはなりません。



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	52	57	70	85	98	118	89	2	571
川越に愛着がある	33	31	54	55	65	75	64	1	378
普段の買い物などが便利	13	22	44	42	56	53	49	0	279
職場や学校への交通の便が良い	18	22	24	38	62	55	39	0	258
自然災害の影響が少ない	22	18	25	36	43	60	50	1	255
自然環境がよい	14	10	18	19	32	35	30	0	158
希望する価格、広さの住まいが確保できる	1	0	9	19	19	24	10	0	82
高齢者になっても暮らしやすい	4	4	2	3	7	10	13	0	43
教育環境が整っている	2	1	2	5	3	5	4	0	22
その他	2	4	6	16	12	14	11	0	65
無回答	0	0	0	1	1	1	1	0	4

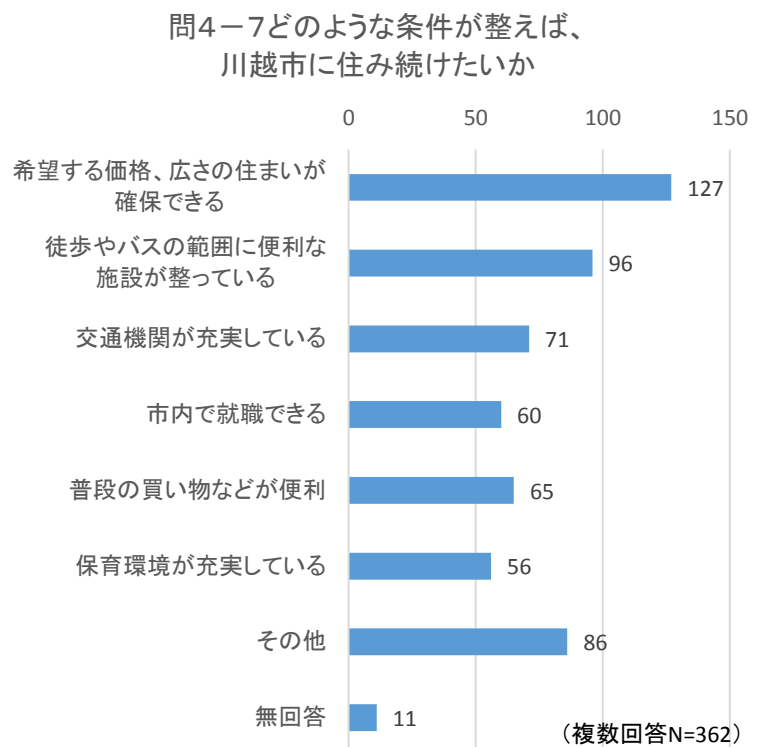
問4-7 どのような条件が整えば、川越市に住みたいか

問4-5において「住み続けるか引っ越しをするか迷っている」、「川越市外に引っ越しをしたい」と回答した方に対し、「どのような条件が整えば、川越市に住みたいか」を聞いたところ、「希望する価格、広さの住まいが確保できる」が最も多く127票(35%)、次いで「徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている」が96票(27%)である。

年齢別にみると、15～24歳では「徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている」が最も多く、25歳以上では「希望する価格、広さの住まいが確保できる」が最も多い。

複数回答 N=367		(票)	(%)
1	希望する価格、広さの住まいが確保できる	127	35.1
2	徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている	96	26.5
3	交通機関が充実している	71	19.6
4	市内で就職できる	60	16.6
5	普段の買い物などが便利	65	18.0
6	保育環境が充実している	56	15.5
7	その他	86	23.8
8	無回答	11	3.0

※複数回答のため、割合の合計が100.0%にはなりません。



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
希望する価格、広さの住まいが確保できる	10	14	22	25	17	25	14	0	127
徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている	12	18	12	14	10	17	13	0	96
交通機関が充実している	6	13	14	12	4	11	11	0	71
市内で就職できる	9	10	7	8	10	9	7	0	60
普段の買い物などが便利	6	9	11	11	6	11	11	0	65
保育環境が充実している	2	5	17	16	9	6	1	0	56
その他	5	10	7	15	21	16	12	0	86
無回答	0	3	1	3	1	2	0	1	11

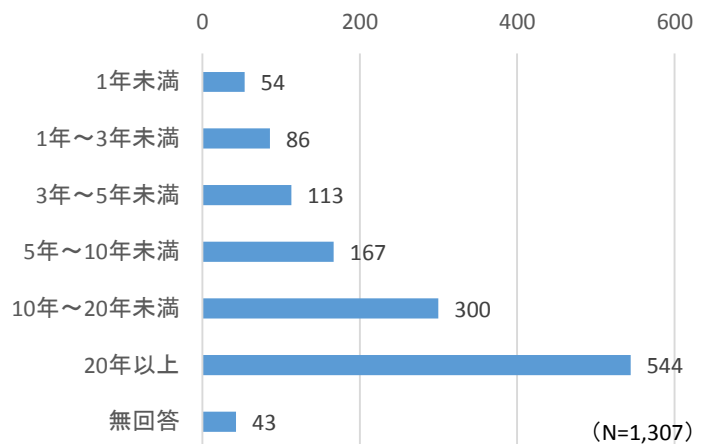
問4-8 川越市に住み始めて何年か

本市での居住年数をみると、「20年以上」が最も多く544票（42%）、次いで「10年～20年未満」が300票（23%）となっており、居住年数が長いほど回答が多い。

年齢別にみても同様であり、各年代で「20年以上」が最も多い（15～19歳では「10～20年未満」が最も多い）。

問4-8川越市に住み始めてからの期間

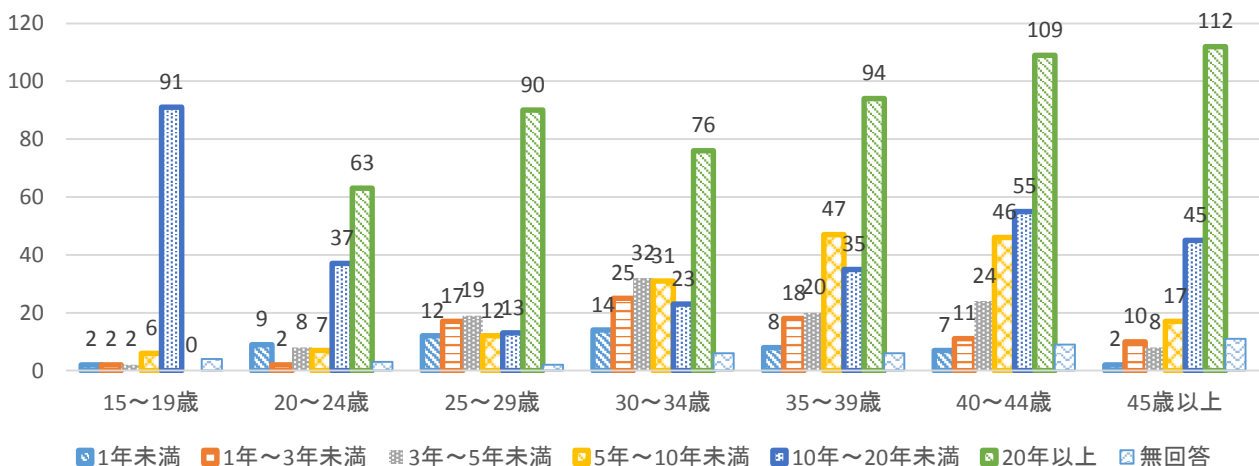
	(票)	(%)
1 1年未満	54	4.1
2 1年～3年未満	86	6.6
3 3年～5年未満	113	8.6
4 5年～10年未満	167	12.8
5 10年～20年未満	300	23.0
6 20年以上	544	41.6
7 無回答	43	3.3
計	1,307	100.0



<年齢別>

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
1年未満	2	9	12	14	8	7	2	0	54
1年～3年未満	2	2	17	25	18	11	10	1	86
3年～5年未満	2	8	19	32	20	24	8	0	113
5年～10年未満	6	7	12	31	47	46	17	1	167
10年～20年未満	91	37	13	23	35	55	45	1	300
20年以上	0	63	90	76	94	109	112	0	544
無回答	4	3	2	6	6	9	11	2	43
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

(年齢別)問4-8 川越市に住み始めてからの期間



問 4-9 川越に住んでみて良かったこと（自由回答）

たくさんの意見の中でも特に「住環境」「歴史の町」「商業の充実」「交通環境の充実」などの意見が多く見られた。

また、それらがバランスよくあること、市民として誇りを感じられる町であることについても、意見が多く見られた。

■住環境が良い（一部抜粋）

	ご意見
1	地震、洪水、津波、台風、大雪、竜巻、突風などの自然災害が無いので、避難生活を強いられる事無く家族で暮らせる所。
2	病院がたくさんある。
3	子供が遊べる公園がいくつかあること。
4	自然が豊かだが生活に不便な点が少なく、病院やスーパーなどが近くにあり生活しやすい。
5	ほどほどに店があり、緑があって住みやすい。
6	中心市街地には百貨店も、東京に行かなくても不便なく買い物ができ、市街地から離れると自然があり住みやすく好きです。
7	交通便が良い。買い物便利。
8	歴史ある街で、新しい施設もあり、充実した毎日が送れます。
9	都会でも田舎でもなく、とても住みやすい。
10	日常生活には困らない程度には整っている(スーパーなど)。
11	住宅街は静かだったこと。
12	夜の月明かりがきれいだったこと。これは住み始めた 20 年前からずっと思っています。東京のような 24 時間動きっぱなしの明るさも必要な人はいるでしょうが、私は昼と夜がしっかり区別されていて生活のリズムが崩れないので良いと思っています。
13	職場が近い、環境が良い、住みやすい。
14	自然災害、人工的災害が少なく平和。
15	ゴミの分別が楽。
16	公園が多く混んでない(以前居住していた横浜の公園は人ごみで遊ぶ場所が無かった)。
17	程よく都会、程よく田舎。図書館が駅近なのがとても嬉しい。 ちょっとした観光もいつでもできる。 近隣の住民もつかずはなれず。会えば気持ちよく挨拶して深入りはしてこない。 全てにおいて全体的に気持ちいいなと思います。
18	知名度が上がり、海外の友達も川越に一日旅行に来たいと言ってくれるようになった。 自然災害がないしとても平和。 土地があるから農業にも若い人を是非取り込んでほしい。

■歴史の町が良い（一部抜粋）

	ご意見
1	川越祭りがあること。
2	蔵造りの町並みが素敵です。
3	歴史的な街並みがあり、近年注目されているところ。
4	蔵造りの街並みや時の鐘など、県外に住む友人も知っているような観光地があること。
5	川越祭、蔵造り、菓子屋横丁など、歴史的観光の場所があるため、ある程度の認知度がある。
6	身近に歴史的建築物などがあったり、川越は誰にでも自慢できる。
7	古い町なのでお寺や神社が沢山あり、川越祭りでは本物の文化価値ある山車やおはやしといったものに触れる機会があるので、子供たちにとっても素晴らしい経験になって良いと思う。
8	お祭りが多い。イベント事が多く楽しい。
9	祭りや花火など毎年楽しめるものがあるのも、住み続けている理由のひとつです。
10	古き良き川越！
11	川越祭りがある。地盤が良い。災害が少ない。
12	お祭り(春夏秋冬)春祭り・川越祭り・百万灯祭り。
13	歴史、知名度が高い。
14	歴史が古く良い伝統文化に恵まれ、市民の民度が高いと感じられる点。
15	歴史が古い街なので、散策する所がけっこうあって楽しい。川越祭りや百万灯祭りがあり楽しみである。
16	伝統を守り、蔵造りの町並みや川越祭り等文化がとても素晴らしく、生まれ育った街としてとても誇らしく思っております。 小さな時から家族で見た川越祭りや町並みを、自分の子供にも将来見せてあげたいと思える街です。
17	蔵造りの街並みが好きなので他の県や市に住んでいる人に自慢できるし誇りです。
18	川越祭り、春、夏祭りと地域に親しむお祭りが多く楽しい。
19	時の鐘や蔵造りなど、歴史ある街に住んでいる事に誇りを感じます。 現在住んでいる場所からそのような観光地へ歩いていける所も気に入っています。
20	小江戸という事で割りと知名度が高く、誰に出身地を言っても大体分かってもらえます。 市内のお寺や川越祭り等も有名で話題に取り上げられたりします。
21	蔵造りなど歴史を身近に感じることの出来る環境にいられたこと。

■商業が充実している

ご意見	
1	いろいろな店がたくさんあり、わざわざ遠出しなくても欲しい物が手に入ることです。
2	商店街や商業ビルがコンパクトな形で集約されているので、普段の生活に困らない。 子供がいると都内へは出にくいので、ある程度の買い物が市内の狭い範囲で済むので非常に助かる。
3	美味しい飲食店が多い
4	デパートやスーパーなどが多く、買い物に行きやすい。
5	色んなお店があるので川越で用が足りる。
6	買い物が便利。

■交通環境が充実している

ご意見	
1	いろいろな店がたくさんあり、わざわざ遠出しなくても欲しい物が手に入ることです。
2	商店街や商業ビルがコンパクトな形で集約されているので、普段の生活に困らない。 子供がいると都内へは出にくいので、ある程度の買い物が市内の狭い範囲で済むので非常に助かる。
3	美味しい飲食店が多い。
4	デパートやスーパーなどが多く、買い物に行きやすい。
5	色んなお店があるので川越で用が足りる。
6	買い物が便利。

■豊かな自然が良い

ご意見	
1	水田地帯の中で、自然にめぐまれている。静かな環境。
2	自然が豊かであること。
3	自然が豊かで平和。
4	富士山が見える。
5	畑や田んぼが多く、動植物とのふれあいができた。

■子育て環境の良さ

	ご意見
1	子育て中(特に幼児)向けの施設が南古谷地区に少ないので、石原町のこどもの城まで車で行き、幼児クラブなど参加しました。そこではお友達もでき、楽しく通えました。それは良かったのですが、南古谷から来ている人はほとんどおりませんでしたので、その後仲良しの関係が中々築きにくかったです。もっと家の近くにあれば良いのになと思います。
2	幼稚園や小学校が家から近く、安心だった。
3	交通の便。
4	子供の医療費が無料。
5	子育てするには丁度良い自然がある。 欲を言えばもう少し子供の遊び場(公園)があればいい。

■その他

	ご意見
1	友達と気軽にいつでも会える所。
2	川越は古い街の観光地なので、海外の人や他地域の人の出入が多いので、他の土地から来る人に対して抵抗感が無い所。
3	気楽に過ごせる所。
4	川越で生まれたので愛着がある。
5	観光地になり有名になったこと。
6	故郷ですから愛着があります。
7	今住んでいる所では近所同士コミュニケーションが取れている。 高齢の方のみの家があれば周りの家がフォローするというような事があるので、そういう部分が良いと思う。
8	親、知人友人が近くにいる。
9	観光地のため周知されている。
10	都会と田舎を併せ持っている。
11	友達が近くに住んでいる。
12	近場の学校で就学できたこと。
13	観光地であるため外国人を見かける事が多い。
14	オリンピックのゴルフが開催されるため、海外との交流が期待できる。
15	小江戸マラソンがある。

問5 その他、ご意見

■仕事、産業について

	ご意見
1	子育てが一段落すると女性も働く意欲が出てくる人が多いと思います。 家と仕事を両立させて、限られた時間に(子どもが学校の時間など)社会に貢献できれば理想的なので、それぞれの会社も、子どもがいても参観日で休んだりするのを嫌がらず休ませてくれたり、融通が利くと、もっと働ける人が増えるのではと思います。
2	市政のレベルでは解決は難しいでしょうが、若者の非正規雇用は問題です。 収入が安定しないため結婚できない、子供をもうけられない若者が(私の周りでも)増えています。
3	どのような職についても、仕事をしながら出産、育児、介護ができる社会にしてほしい。 子供が仕事の妨げになるような職場があるままでは、日本の未来はないと思う。
4	出産、育児で一度退職した女性が正社員で復帰できるように、企業に働きかけて頂きたいです。 または、パートやアルバイト、派遣社員でも、正社員と変わらない待遇をしてもらえるようにしてほしいです。 子供がいるのだから同じ時間働いてもパート、アルバイト待遇しかしてもらえないのは仕方ないという風潮がとても嫌です。
5	若い人が気軽に参加できる農業体験など(収穫した野菜でおしゃれなカフェの経営など)20.30代の力も生かさせていけたら、川越はもっと発展すると思う。
6	空き家や空き地(農地など)をもっと低価格で取得できるようにして、起業しやすい環境を整備して欲しいです。
7	元気な高齢者が仕事を続けて収入を得て、税金の世話に甘んじることの無い高齢化社会を目標として欲しい。
8	仕事の面で、正社員に雇用されない場合でも福利厚生に加入できるような環境が必要だと思います。 仕事に安定がないと結婚、子育てへの不安があるため、前向きに考える事が簡単にはできない状態です。
9	企業誘致の努力は必要だと思います。
10	川越で働き暮らす人を増やしたいならばまず交通の面を何とかするべきだと思う。 川越市は結構広い市だと思うが、鉄道もバスも全て市街地優先で範囲も狭く全く使い物にならない。
11	ブラックな起業は健全な家庭生活を営むことを阻害する。高収入よりワークシェアリングの方向を希望します。

■観光、商業環境について

	ご意見
1	一番街に大勢観光客の方たちがいらっしゃっているのに、朝から開店しているお店が少なく(9時頃)もったいないと毎回思います。 外国人ツアーの方たちは特に早い時間にいらしているので、工夫したら良いのではと。
2	せっかく有名になってきたので、これを機に川越ならではのイベントを作り、それ目当てに来る方を増やしたほうが良い。
3	川越の「蔵の街」を観光化の徹底をお願いしたいです。例えば ・土日は完全な歩行者天国にする。平日は時間を決めて車両の出入を管理する。 ・新しく建設する建物などは蔵の街の外観に合うものにする。 現在は、現代的なものと風情のある建物とが混在してしまって、なんとも中途半端な感じで残念！ ・昨年、岐阜県の「さんまち」を旅行した際に風情ある街並み、江戸時代の町並みの外見をすごく大事にしていました。 コンビニや個人宅でさえも外観を損なわないように統一されていてとても素晴らしく、川越の蔵の街もこれくらいの意気込みがあればいいのに！とほんとに思いました。 ・最低でも一方通行にしてほしいです。車の往来が多すぎてゆっくり歩けません！
4	川越市のマスコットキャラクターのときもは他の市に比べてかわいくて癒されるので、もっとグッズやゆるキャラ(ご当地キャラ)の大会などに出場して、川越市の活性化に生かしたほうが良いと思う。
5	川越の城下町をもう少し生かしたらいいと思う。 お城が跡地なので少しアピールする部分が少ないかもしれないが、着物も江戸時代の町民のものをレンタルしたり大々的にタイムスリップできるような感じにしたら、駅前も便利になったし若い観光客も来るかもしれないです。
6	川越祭りはとても魅力があり、ほぼ毎年見に行きます。ただ私の住む笠幡には山車は無く、祭りに参加する事が出来ず残念に思う。 山車の無い地域の者も祭りに参加できるシステムがあると市民同士のつながり、一体感がより深まると思う。 例えば山車の無い地域用のチームを作り参加。例えばすでに山車のある地域のグループには地域外の者が参加できる枠を設けるなど。 山車に参加できるのが一番だが、山車以外でも郊外のものがなにか参加できるシステムがあると良い。
7	観光地としては有名だが日帰りで観光客は帰ってしまうので、もう少し留まってもらえる宿とかを作ってみても良いと思います。
8	近年川越の菓子屋横丁や周辺の通りで外国人観光客を見かける事が多くなったように感じます。 さらに知名度を上げるため観光名所を増やし、丸一日そこで楽しめるような場所になれば良いと思います。
9	ウエスタを利用し、色々な文化交流ができる場が増えるといいと思う。 川越ならではの何か特産物、代表する産業(川越といえばこれ！)など特化するものがあると良いです。(例えばサツマイモでもっとおしゃれななにか)
10	小江戸川越として歴史や文化を大切にしていきたい気持ちがあり、一番街を中心とした観光も頑張ってもらいたいと思う。 しかし玄関口としての本川越駅前の商業化の方向性に疑問を感じている。 駅から一番街までの導線となる新富町～連雀町がまだまだ弱いと思う。

■結婚、出産、子育てについて

	ご意見
1	母子家庭が多くなり、小学校低学年～就学前の子供が朝早くやお昼にご飯を食べにお金を持ってコンビニに行ったら良かったか分からずに店内を歩いたり、冬の寒い日に朝早くコンビニの外で小学生が一人で食事をしていた所があったので、家以外で子供たちが安心して暮らせる(過ごせる)所が保育所、小学校以外で、休日にも使用できる様な所があれば良い。
2	子供が生まれお金が無いので働きたいが、待機児童も多く、両親がフルで働いていても認可の保育園に入れるか分からないと言われた。 両家の親戚は皆遠方のため、どこにも頼る事ができず、毎日の子育ても大変なのに、仕事も少しずつの復帰ではなくフルで働かないと保育園にすら入れないなんて、ちゃんと両立できるか不安。 どんどん働きながら子育てする人の負担が増えていると思う。 これでは何人も産みたいとはとても思えない。
3	障害を持つ子供の医療の充実がほとんど無く、大変に不安です。 リハビリ等相談の対応があまりに無く、不安すぎてもう一人生む気持ちになれません。 健康な子供だけでなく、子供を増やしてほしいなら、そういう面の所まで考慮して頂けると良いと思います。
4	子育て環境がもう少し整って欲しい。 例えば、千葉県浦安市の妊娠した方に配布しているバッグと子育てに必要な品等、川越市でもあるとありがたい。
5	現在不妊治療中なのですが、やはり治療費などがとても多額になります。 子育て手当てなども大切なのも十分理解できるのですが、その前のステップ、子作り手当てや補助など、子供を持つために頑張っている夫婦への制度も考えて頂けるともっと積極的に動けると思います。 やはり治療費がネックになり、長期化すると子供を諦めざるをえなくなる事もありますから、少しでも手を差し伸べてくれたら少子化の減少を止められるのでは！と切に思います。
6	川越市は待機児童がいるので子供が産まれてからすぐに保育園に預けられるかわからないと聞いたことがあります。 これから子供を考えていますが、会社の育児休業中に必ず見つけられるのか不安があります。 私の職場が川越なのでこのまま川越に住み続けたいと思いますが、保育の環境次第では近隣の市に引っ越すことも検討しなければと考えております。 高齢者から子供までがより住みやすい川越になることを期待いたします。
7	母子家庭が優先して暮らせる住居を斡旋してほしい
8	小中学校(義務教育)の土曜日授業を再開して欲しいと思います。 近年、経済格差が学力に反映されているようなので。
9	幼い子供を抱えての再就職に大きな壁を感じます。 さまざまな方面から解消されることを望んでいます。(職場の理解、保育環境の充実など)
10	川越は子育てするにはとても大変だと思います。教育にとっても不満があります。 学校の環境はとても差があるし、給食は子供も美味しくないとはいえず、試食に行ったら本当に悲しくなるくらいでした。 地域を良くするのはまず教育だと思います。観光ばかりに力を入れず教育にもっと力を入れて欲しいです。 そして人を良くするのは食だと思います。食育にもっと力を入れ、給食をもっと何とかしてほしいです。

■生活環境について

	ご意見
1	「川越らしさ」をつきつめて独自性が持続できる、市民がそれを生活の中で実感できると良いと思います。
2	埼玉の交通(自動車)状況の改善が必要です。 すべて東京方面のために道や電車ができていますので、横の移動や市内の渋滞が酷いので、県を挙げて良い県にしてください。
3	小江戸川越で観光、中小規模店舗、商工会に力を入れるのもわかるが、子供が遊べる、遊ばせる場所が少ない。 もう少し一般の納税者にも還元して欲しい。 連休などに遊べる場所が少なく、いつも県外に行くことになる。 せめて県内に大型施設(牧場、大型パークなど)あったら良いのに。
4	川越市南台のマンションに住み三年になります。 駅に近く外出は便利なのですが、買い物は駅を通り越して行かねばならず、住環境は満足とは言えません。 駅前でありながら商店街はさびれ、住人が殆どいない集合住宅が目立ち暗い感じがします。 川越市内は賑わっていても開発のバランスが悪いと思います。 川越を支える若い人が住む住環境を整える事が必要ではないでしょうか？ これでは若い人は川越に住み着かず老人の街になってしまいます。
5	お年寄りが多くなってきているが、若い子供も多い川越でお年寄りと子供の交流の場を作り、沢山の経験をされたお年寄りから色々な話を聞いたほうが良いと思う。
6	災害に強い街づくり、住民の災害への不安の払拭を図ってください。ゲリラ豪雨での道路冠水で家に浸水しそうで怖い。 一応それに対して側溝のマス工事をしたようだがキャパが足りていない。 工事済みのため再度そこをいじることは出来ないそう。
7	他市町村より税金が高い面(固定資産税)の改善。 子供たちが安全、安心して成長していけるような地域環境、社会の価値観そのものの必要性。
8	歩道等の道路の整備を充実して欲しい。歩いていると歩道が狭い所が多い。自転車でも思う。 車に乗っていても歩行者、自転車との並走に恐怖を常に感じる。 道路が古かったり轍が酷い所、ガタガタしている所も多いので何とかして欲しい。 市内の幹線道路以外のバスの本数や範囲を増やして欲しい。
9	高齢者の福利を年齢引き下げて欲しい(バス利用など)。 また、どんどん増えていく中で住みやすい街、福利厚生を充実させて欲しい
10	低所得者に対しての税金対策もあると良いと思います。 国民年金保険、健康保険などの低所得者への免除や軽減があれば支払いが困難な人でも将来のために考えられると思います。免除される場合もあるが条件が厳しいです。 この状況では将来のことを考えるのは難しいので、夢を持てるような仕事での環境、整備が必要だと思います。
11	クリアモールの夜間の治安があまり良くないと感じます。街づくりが中途半端である。 若者に優しい街にしたいのかわからない。 商業施設も便利というには足りないものを感じる。 子供が体を動かして遊べる所も少ないし、道路も狭く危ないと思う。 観光も良いけど住んでいる人にもっと住みやすい街づくりをお願いします。